

村制施行 100 周年記念

# 第 39 回 やけうちどんと祭り

— 13 年ぶりにナイアガラの滝が復活!! —

村制施行周年記念第 39 回 やけうちどんと祭りが平成 29 年 11 月 3 日（金）、湯湾港湾にて行われました。台風 21 号の影響により当初予定されていた 10 月 22 日（日）から 12 日間延期。前夜祭と本祭を 1 日に短縮しての開催となりました。

祭りは、夕方 4 時からの舞台プログラムでスタート。保育所の園児によるかわいいダンス、公民館講座の受講生らがフラダンスや舞踊、合唱などを披露しました。その後、行われた抽選会に続き、8 時からはお待ちかねの花火大会。例年以上に数を増やし、100 周年にふさわしく豪華に打ち上げられました。また、13 年ぶりにナイアガラの滝が復活。両端から点火され、全長 800 メートルの滝が完成すると会場からは大きな歓声が上がりました。



1 阿室保育所のお遊戯。最後の決めポーズが決まりました！ 2 3 会場へ詰めかけた多くのお客さん 4 美しい声で島唄を披露してくれた岩元梨恵さん（左）と別府まりかさん（右） 5 フラダンス教室の皆さん 6 舞踊教室の皆さん 7 かわいいダンスを踊ってくれた子どもたち 8 今年も子どもたちに大人気のハブレんジャー。ウーケンも登場！ 9 笠利町連合青年団女子部による火舞い 10 公民館講座歌謡教室の皆さん

# 「世間遺産講演会」

東川隆太郎氏とシマの宝を再発見



自身が撮影した写真を見せながら講演する東川隆太郎氏



宇検集落で行った集落散策の様子

100周年記念事業の一環として、まち歩きの人環として知られる東川隆太郎氏を招き、「世間遺産講演会」を開催しました。平成29年8月21日（宇検）、22日（名柄）、27日（平田）、28日（湯湾）の全4回実施。集落の方々を中心に各回にそれぞれ、約30名ほどが参加し、東川氏と集落を散策しながら、地域の宝をあらためて学びました。東川氏はNPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事を務めており、住民には当たり前でも、その土地にしかない珍しい景色や風習などを「世間遺産」として発掘、発信しています。散策の後の講演会で東川氏は「奄美には、大河ドラマ西郷どんと世界自然遺産のいい流れがきている。集落のことを集落の人がきちんと自慢できることが大事。」と今後の集落作りに向けたアドバイスを送りました。

# 慰霊碑建立後、初の慰霊祭を開催



1 慰霊碑に向かい追悼の言葉を述べる元田村長 2 大島安徳さんをはじめ宇検集落関係者らが参列 3 祈りを捧げる久志小中学校の児童生徒 4 参列者全員で黙とうの様子 5 対馬丸記念会の高良政勝理事長



## 沖縄での慰霊祭へも参列

8月22日、毎年開催されている対馬丸記念会主催の慰霊祭が沖縄県那覇市の碑「小桜の塔」前で行われ、元田村長と川淵昌春宇検集落区長が初めて参列しました。慰霊祭には生存者や遺族ら約400人が集まり、つしま丸児童合唱団による合唱の後、平和の象徴とされるオオゴマダラを放して不戦の誓いを新たにしました。元田村長はあいさつで慰霊碑の建立を報告。沖縄との交流をすすめていくことを約束しました。



# 「子孫に食べさせたい給食レシピ」

最優秀・優秀作品が決定！



レシピを詳しく見ながら調理



審査会の様子



100周年を記念し、子どもたちの健やかな成長を願うとともに、地産地消と奄美の地場産食材への関心を深めていくことを目的に募集していた「子孫に食べさせたい給食レシピ」。10月4日（水）に審査会を行いました。この日は、生活改善グループの皆さんが応募作品をレシピどおりに調理。審査員6名が試食し、見た目や地場産物の活用、給食としての調理のしやすさなどを採点しました。11月1日（水）、その作品の中から「島もずくとおからの島野菜おやき」が、村内小中学校の給食に登場。田検小学校では同日、「ふれあい給食交流会」を開催し、地域住民約30名を招待して給食を味わいながら100周年を祝いました。



平成29年8月26日（土）

建立後、初となる慰霊祭が船越海岸の対馬丸慰霊之碑前で行われました。沖縄から対馬丸記念会の高良政勝理事長をお迎えし、宇検集落関係者や行政、久志小中学校の児童生徒ら40名が参列。黙とう、献花を行い、犠牲者へ鎮魂の祈りを捧げ平和への誓いを新たにしました。元田村長は追悼のことばで「対馬丸事件を忘れることがないよう語り継ぎ、子どもたちへの平和教育に生かしていくとともに奄美と沖縄の交流を深めていきたい」と語りました。